

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

木質ペレット燃料利用による

ハウス加温施設の二酸化炭素排出削減事業(高知県)

排出削減事業者名：高知県木質ペレット利用促進協議会

排出削減事業共同実施者名：株式会社イースクエア

その他関連事業者名：株式会社相愛

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	高知県木質ペレット利用促進協議会
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	農事組合法人高知バイオマスファーム
住所	代表（竹崎修央）：高知県安芸郡芸西村馬ノ上 429 番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社イースクエア
その他関連事業者（注）	
関連事業者名	株式会社 相愛

（注）その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

木質ペレット燃料利用によるハウス加温施設の二酸化炭素排出削減事業（高知県）

### 2.2 排出削減事業の目的

施設園芸ハウス加温用 A 重油ボイラを木質バイオマスボイラに更新（一部バーナー更新）することによって、低炭素燃料へのエネルギー転換の転換を図り、CO2 排出量を削減する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO2 を実質的に排出しないものとみなされるため、ボイラの燃料を A 重油から木質バイオマスへ転換することにより、CO2 排出量を削減する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

排出削減事業所は当初、農事法人高知バイオマスファームと四万十農業協同組合営農総合センターの2ヶ所であったが、四万十農業協同組合営農総合センターの農家(1戸)は対象ボイラーを交換したため、排出削減事業者から除いた。

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2008年10月1日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2010年4月1日 ～ 2011年3月31日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量は採用しない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

#### 4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

燃料供給設備、バイオマスボイラ (一部バーナー更新)、ボイラから温風の供給を受ける設備

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,Pj}}$	木質バイオマス使用 量	kg	157,600	燃料供給会社の請求書	—
$WCF_{\text{wood,Pj}}$	木質バイオマスの 含水率 (湿量基準)	%	銘建工業 6.1 池川木材 7.5 九州バイオ 6.9	JIS Z7302-3に基づく測定結 果を採用	—
$HV_{\text{fuel,Pj}}$	木質バイオマスの 全乾時の単位発熱 量 (全乾発熱量)	kcal/kg	銘建工業 4,700 池川木材 4,700 九州バイオ 4,578	固体発熱量測定用燃焼式カ ロリメータ (C200 カロリ メータシステム、IKA 製) による測定結果を採用	—
$\alpha$	熱量換算	MJ/kca l	0.00418605	国内クレジット制度のデフ ォルト値	—
$\epsilon_{PJ}$	燃料転換後ボイラ効 率	%	87.9	燃料消費量、燃料の高位発 熱量等の計測データから算 出	—
$CF_{\text{fuel,BL}}$	A 重油の単位発熱量 あたりの炭素排出係 数	tC/GJ	0.0189	国内クレジット制度のデフ ォルト値	—

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
95 kWh		0.862 t C/万 kWh	0.0 tCO2
EM <sub>PJ</sub>			0.0 tCO2

### 7.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2,550.0 GJ		0.0189 t C/GJ	176.7 tCO2
EM <sub>BL</sub>			176.7 tCO2

### 7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
31,047 kWh		0.862 t C/万 kWh	9.8 tCO2
37,463 t km		0.1545 kg-CO2/tkm	5.8 tCO2
2,790 t km		0.3169 kg-CO2/tkm	0.9 tCO2
LE			16.5 tCO2

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	CO2 排出量
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	176.7 tCO2
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	0.0 tCO2
リークージ排出量 (7.3)	LE	16.5 tCO2
温室効果ガス排出削減量	ER	160 tCO2

## 8 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン - 実績 (①-②)

## 9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2010年4月1日 ~ 2011年3月31日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			
バイオマス利用量	t	157.6	2,550.0	65.8